

令和5年第4回公安委員会会議録

日 時	2月9日（木曜日）	自午後 1時30分 至午後 4時40分	場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	小野委員長 廣塚委員 宮尾委員 甲斐委員 吉田委員		
出席者	警察職員	本部長 警務部長 生活安全部長 刑事部長 交通部長 警備部長 情報通信部長		

第1 聴聞等についての決裁

運転免許課長から、聴聞8件、意見の聴取29件について説明があり、決裁が行われた。

第2 定例会議

1 「県民ふれあいコンサート」の開催について

(1) 開催の目的

演奏等を通じて、県民との心のふれあいを深めるとともに、演奏会の場を活用した警察広報を行うことにより、警察活動に対する県民の一層の理解と協力を得ることを目的とする。

(2) 開催日時・場所

ア 開催日時

令和5年2月18日（土）午後2時から午後4時まで（開場：午後1時）

イ 場所

熊本県立劇場コンサートホール

(3) 概要

ア 出演者

- 熊本県警察音楽隊
- 熊本市消防音楽隊
- 熊本学園大学吹奏楽部
- 熊本県警察音楽隊OB

イ 司会者

大田黒 浩一 氏

ウ 演奏会プログラム

(ア) 第1部

熊本県警察音楽隊及び熊本市消防音楽隊による単独演奏並びに熊本県警察音楽隊OBとの合同演奏

(イ) 第2部

熊本県警察音楽隊ステージドリル演奏

(ウ) 第3部

熊本県警察音楽隊、熊本市消防音楽隊及び熊本学園大学吹奏楽部による合同演奏

- ※ 第1部と第2部の間に防犯・交通安全に関する啓発動画を放映
- ※ アンコールがあった場合には出演者全員による合同演奏・演技

(4) 参考

- ア 熊本県警察音楽隊は、本年度で創立70周年を迎える。
- イ 本年の演奏会は、3年ぶりの開催となる。
- ウ 演奏会の模様は、後日、インターネットでの配信を予定している。

【委員からの質問等】

- 委員から、「音楽隊はコンサート以外でも県民の身近なところで演奏していると思うが、昨年中はどのくらい活動をしているのか。」旨の質問があり、警察側から、「昨年の派遣演奏活動は、県内38か所、聴衆約1万4,000人に対して実施している。」旨の説明があった。

2 令和4年中の生活安全部における業務推進状況

(1) 少年非行

ア 刑法犯少年検挙・補導人員

区分		年次					増減
		H30	R元	R2	R3	R4	
総数(人)		370	323	232	242	260	+18
	犯罪少年	267	228	179	161	177	+16
	触法少年	103	95	53	81	83	+2

イ 主な検挙事例

- (ア) 高校生と有職少年による恐喝事件（熊本中央）
- (イ) 有職少年による建造物侵入及び窃盗事件（熊本東）

ウ 今後の取組

- (ア) 関係機関との連携による低年齢層を中心とした非行防止教室及び保護者教室等の更なる推進
- (イ) 非行集団を形成させないためのたまり場の把握と街頭補導の強化

(2) 人身安全関連事案

ア ストーカー・DVの認知件数及び児童虐待の通告児童数

区分		年次					増減
		H30	R元	R2	R3	R4	
ストーカー(件)		294	283	425	410	357	-53
DV(件)		511	448	641	651	603	-48
通告児童数(人)		662	869	1,155	1,435	1,669	+234

イ 主な事例

- (ア) 元交際相手に対する脅迫事件の通常逮捕及び禁止命令の発出（熊本南）
- (イ) 母親が乳児を自宅に置き去りにした事案の児童通告及び一時保護（菊池）

ウ 今後の取組

- (ア) 本部と署の緊密な連携による被害者等の安全確保を最優先とした対応
- (イ) 児童相談所等の関係機関と連携した児童等の安全確保

### (3) 生活環境事犯

#### ア 生活環境事犯検挙状況

区分		年次					増減
		H30	R元	R 2	R 3	R 4	
総数（件）		567	551	477	414	390	- 2 4
生活経済事犯		75	129	125	121	59	- 6 2
環境事犯		134	115	107	102	76	- 2 6
風俗事犯		118	74	48	19	20	+ 1
秩序・諸法令違反等		240	233	197	172	235	+ 6 3

#### 主な検挙事例

- (ア) たけのこ産地偽装にかかる不正競争防止法違反（原産地誤認惹起）事件（宇城、熊本南、御船、生活環境課）
- (イ) 繁華街における風営法及び迷惑防止条例違反（客引き）事件（熊本中央、玉名、荒尾、大津、御船、山都、宇城、人吉、多良木、上天草、生活環境課）

#### ウ 今後の取組

- (ア) 被害拡大防止に向けた生活経済・環境事犯の早期認知・早期事件化
- (イ) 熊本市繁華街における実効ある風俗事犯取締り等の繁華街対策の強化

### (4) サイバー犯罪

#### ア サイバー犯罪検挙状況

区分		年次					増減
		H30	R元	R 2	R 3	R 4	
総数（件）		209	219	221	245	121	-124
不正アクセス禁止法違反		1	16	17	1	1	0
コンピューター・電磁的記録対象犯		2	10	2	5	5	0
その他（ネットワーク利用犯罪）		206	193	202	239	115	-124

#### イ 主な検挙事例

- (ア) 元交際相手に対する不正指令電磁的記録供用事件（熊本中央、サイバー犯罪対策課）
- (イ) SNSにおける不正アクセス禁止法違反及び私電磁的記録不正作出・同供用事件（熊本中央、サイバー犯罪対策課）

#### ウ 今後の取組

- (ア) サイバー犯罪対処能力の底上げ
- (イ) 官民連携によるサイバー犯罪被害防止対策の強化

#### 【委員からの質問等】

- 委員から、「SNSでの迷惑動画など少年非行について今後の取組が大事なので、教育機関等の関係機関と連携し、非行防止教室や保護者教室を積極的に進めていただきたい。」旨の意見があった。

- 委員から、「少年非行は、対策をしなければ反社とか半グレにつながっていく可能性があるの、しっかりと対応していただきたい。」旨の意見があった。
- 委員から、「児童虐待事案の通告児童数が増えているが、主にどのような類型があるのか。また、どういう方が通報しているのか。」旨の質問があり、警察側から、「心理的虐待が約7割を占めており、その中でも両親による面前三重D Vが多い。ほかに、親による放任（ネグレクト）による通告が多い。通報者は近所の方が多い。」旨の説明があった。

### 3 「熊本城マラソン2023」（第10回大会）の開催に伴う警察諸対策について

#### (1) 概要

- ア 日時：令和5年2月19日（日） 午前9時から午後4時までの間
- イ 主催：熊本城マラソン実行委員会（熊本市、熊本日新聞社、熊本陸上競技協会）
- ウ 種目（定員及び出走順）
  - ① 金栗記念熊日30キロロードレース（150人）
  - ② 歴史めぐりフルマラソン（11,000人）
  - ③ 城下町ファンラン（1,500人）

#### (2) 警備体制

- ア 警察の体制
  - (ア) 交通対策
    - 交通部長以下（交通部各所属及び市内4警察署）
  - (イ) 雑踏対策等
    - 地域課、機動通信課及び管轄警察署（熊本中央警察署、熊本南警察署）
  - (ウ) 警備対策
- イ 主催者の体制
  - 熊本市職員、警備員、ボランティア等 合計 約5,700人
- ウ 交通対策
  - (ア) 交通総量抑制
    - コース周辺の乗り入れや通過交通抑制のための広報を実施
  - (イ) 交通規制
    - ランナーの通過状況に合わせて交通規制を実施
  - (ウ) 交通整理（信号交差点に警察官を配置）
    - コース上、関連交差点において、手動操作による交通整理を実施
- エ 警備対策
  - (ア) ランニングポリス（機動隊）
    - スタートエリア（ランナーブロック）及びコース内外の警戒
  - (イ) 車両突入阻止班（機動隊、管区機動隊、熊本中央警察署、熊本南警察署）
    - スタートエリア周辺及びコース上の主要交差点
  - (ウ) ドローン対策班（管区機動隊）
    - スタートエリア及びゴールエリア上空及びその周辺空域
  - (エ) 突発事案対策班（機動隊）

#### 【委員からの質問等】

- 委員から、「早朝からの対策となるが、大会が無事に実施されるようお願いする。」旨の意見があった。

### **第3 報告・決裁等**

#### **1 通信装備品等の視察等**

通信部長から説明が行われた。

#### **2 熊本少年鑑別所との協定締結についての報告**

少年保護対策室室長から報告が行われた。

#### **3 令和4年度における総合監察等の実施結果についての報告**

首席監察官から報告が行われた。

#### **4 犯罪被害者等給付金の支給裁定についての決裁**

広報県民課犯罪被害者支援室室長から説明があり、決裁が行われた。

#### **5 熊本県情報公開・個人情報保護審議会からの説明聴取についての決裁**

広報県民課文書情報室室長補佐から説明があり、決裁が行われた。

#### **6 自己情報開示請求に対する不開示決定の決裁**

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。